

REHAMAGA



自宅で叶える、安心と自立。

～多職種で「できる」を育む、回復期リハの在宅支援～



社会医療法人 北斗

十勝リハビリテーションセンター

回復期リハビリテーション (家屋環境)

退院前
訪問指導

回復期リハビリテーション病棟では、お家に帰る前に、家の中で安全に生活が出来るか実際にスタッフが一緒に伺って自宅環境の確認を行っています。



ご自宅での動作確認と介助方法の練習

お家の実際の環境で、入院担当のリハスタッフが実際に動作を確認し、動作や介助方法の指導、手すりなどの福祉用具のアドバイスなどを行っています。

退院に向けた情報共有と連携

在宅担当のケアマネジャーさんや訪問リハスタッフにも参加していただき、在宅担当側からのアドバイスをもらったり、対面での申し送りを行っています。

退院をサポート 家屋訪問と継続的な生活支援

退院前の家屋訪問は生活動作や生活環境の心配や不安を、共に見て、体感して確認できる貴重な時間です。

ご本人・ご家族の意向、専門職からの専門的な意見をまとめてケアプランを作成し、退院後も安心して生活を続けるよう継続して支援いたします。



ケアマネジャー
加藤 舞

環境調整と動作指導による 在宅生活支援

退院前の家屋訪問では、ご自宅で日常生活の動作が安全に行えるかを確認します。ご自宅の環境やご本人の身体の状態に合わせ、手すり設置などの環境調整や注意点、介助方法をお伝えし、退院後も安心して在宅生活を続けられるよう支援しています。



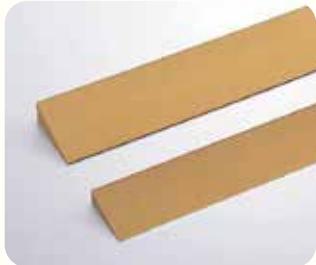
作業療法士
板東 しおり

TOKACHI REHABILITATION

ヨン病棟での在宅支援 (窓の調整)

便利な 福祉用具

玄関



置き型スロープ

改修しなくても車椅子で
出入りが可能に



屋外用置き型手すり

改修しなくても段差に手す
りが置ける

屋内



置き型手すり

ベッドやソファーの横に
置ける手すり



突っ張り型手すり

狭い場所でも設置できる
手すり

入浴



シャワーチェア

安定した姿勢で身体を洗
える



バスグリップ

浴槽淵につけることが
できる手すり

移動



シルバーカー

荷物も載せられて座って
休むこともできる



6輪車椅子

狭い場所での方向転換が
しやすい車椅子

院内に福祉ショップがあります／

歩行器や車椅子、杖などの福祉用具から
リハビリシューズまで幅広く展示して
おり、相談にも乗っていただけます。

営業時間

月・火・木・金
11:00～15:00

福祉ショップ マルベリー



LITATION CENTER

INFORMATION



日本リハビリテーション医学会 秋季学術集会にて当院白坂院長が講演

2025年10月23日(木)～25日(土)に旭川市で開催された第9回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会にて当院院長が「科学的根拠に基づく最先端リハビリテーション医療」をテーマに教育講演を行いました。

講演では、当院が日常診療で大切にしている考え方と、実際に取り組んでいる最先端のリハビリテーション医療について、具体例を交えながらお話ししました。医療には経験や勘だけでなく、確かなデータに裏付けられた「科学的根拠(エビデンス)」が欠かせません。当院ではガイドラインで有効性が示されている先進機器を積極的に導入し、科学的根拠に基づいた医療を実践しています。例えば歩行ロボットを用いたリハビリテーションでは従来よりも多くの歩行訓練を行うことができ、「歩く力」の改善が期待できます。ブレインマシンインターフェイス技術を活用した機器はこれまで訓練が難しかった最重症例にも対応でき、脳と体をつなぐ新たなリハビリテーションの可能性を広げています。上肢ロボットはAIが筋肉の動きを解析することで、手の動きがほとんど出ない方でも訓練に繋げることができます。さらに仮想現実(VR)を活用した訓練は楽しみながら体幹機能の向上を促し、対外衝撃波治療は筋肉のつっぱり(痙攣)の改善に有効です。加えてAIによる予後予測を活用することで、回復の見通しを早い段階から立てることができ、退院後の生活設計の支援にもつなげています。

このように当院では、最新の技術と確かな科学的根拠を組み合わせることで、患者さん一人ひとりの「これから的生活」を見据えたりハビリテーション医療を提供していくことを、講演を通してお伝えしました。

 社会医療法人 北斗
十勝リハビリテーションセンター



〒080-0833 帯広市稻田町基線2番地1

0155-47-5700

FAX 0155-47-5701

電話対応時間 平日／9:00～17:00、土曜／12:00まで

・帯広駅から車でおよそ20分

・十勝バス「十勝リハビリテーションセンター前」より徒歩2分

発行 社会医療法人 北斗 発行人 橋本 郁郎

©2026 社会医療法人 北斗 / 本誌に掲載されている内容の無断転載、転用及び複製等の行為はご遠慮ください。